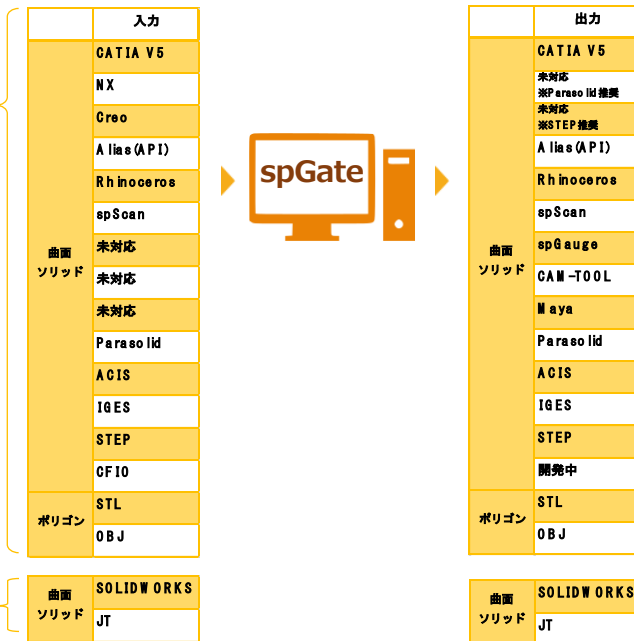




あらゆる3D CADデータにオールインワン対応

- 右の表のCADデータを全て標準対応しています。
CATIA・NX・Creoなど、CADのライセンスが無くても直接「ネイティブファイル(生データ)」を取り込みます。
- 曲面・ソリッド形状・アセンブリ構造の他、ポリゴンデータ(STL,OBJ)も扱えます。
- Alias(API) : Alias変換は、Aliasがインストールされている場合に可能です。
- SOLIDWORKS、JTは、有償オプションで提供しています。



有償オプション

豊富なオプション機能



複雑なCADモデルを簡略化

- CADモデルの簡略化により解析時間を大幅に短縮します。
- 微小フィレット形状を持つCADモデルを解析システムに取り込むと、解析メッシュのポリゴン数が大幅に増大し解析時間も増加します。
- spGateには、解析用モデルを準備するための豊富な簡略化ツールが搭載されています。不要形状の削除や面数削減により解析に最適化されたモデルを使用することで、解析時間の低減につながります。



設計変更前後の違いが一目瞭然

- 設計変更前後の差分チェックは大変な工数がかかります。
- spGateは2つのCADデータを比較し、変更箇所を色分けしてわかりやすく表示します。穴のズレ、抜きテーパの有無、板厚変更など一目瞭然です。トレランス値を指定することで、サブミクロン(0.1μm)の高精度チェックも可能です。



5万面のフルモデルも瞬時に軽量化

- CGやデザイン業務でCADモデルを利用して静止画や動画を作成する場合、重要なのは、3Dモデルの外側から見える部分のみ。自動車であれば外観やガラス越しに見える内装です。見えない部分のCADデータは個々に手動で削除し、レンダリング時間を短縮します。
- spGateは、この軽量化作業を完全自動化しました。



微小形状を簡単削除

- 受け取った製品モデルには、不要な形状が多数存在している場合があります。例えば、微小形状はなくても解析結果に大きな差が生じない場合に、微小形状が存在することで、メッシュ数が増大し、解析時間が非常にかかります。
- spGateの形状削除コマンドを使用すれば、不要な部位は矩形選択するだけで簡単に取り除くことができます。



CATIA専用のヒーリング機能

- CATIAにCADデータを取り込むと、面が複数に分割されることがあります。
- spGateにはCATIA専用ヒーリングがありますので、面分割を抑制することができます。

記載されている会社名、製品名およびサービス名称は各会社の商標または登録商標です。記載内容は2019年1月現在のものです。記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



株式会社トヨタシステムズ 営業本部

TEL : 050-3142-7889 Mail : helpdesk01@tns.toyotasystems.com

URL : <https://www.toyotasystems.com>



2019年第1版